

# OLC東海の10年とこれから

OLC東海顧問  
大野聡生

東海中高ワンダーフォーゲル部(OLC東海)顧問を務めて10年。予想外の急展開をしてきた。

この10年を振り返ってみた。

## 1997 1名からのスタート 130cm

10年前の赴任とともに顧問になった時、部員は1人だけ、かつ彼も私も「ワンゲルって何やるの??」という感じだった。そこで、自分が学生時代やってきたクラブの感覚から「中高生の時にしか味わえない“楽しみ”“感動”を体験させたい」という思いが芽生えてきた。しかし“ワンゲルのお楽しみ軽登山”が続くばかりで、なかなかその道筋も見出せず時が経った。

半年後、楽しく山登り・キャンプをしていたことで増え始めた部員を引き連れ、30年来顧問をやってこられた岡野先生の誘いで、OL大会に参加した。もちろん私自身も初心者。しかし2・3度と参加するうちになんとか楽しみ方もわかり、OLが生涯スポーツであることや、限りなく“楽しみ”を求めていける競技であることも体感した。

## 1998 岡野先生指導の下 140cm

登山やキャンプに行く時にもゲームを手放さない彼らの姿に馴染めなかった私は、ワンゲル部でOLに本気で取り組んで行くことによって「みんなで日常的に地道にトレーニングする 大会参加して他校(部外者)と競う楽しさを味わう 日本一や世界一になりたいと思うほど打ち込む 将来困難に打ち克って生きて行けるように……」と“わかりやすい”道筋を考えた。

そして同年代の参加者が少ないこともあって、多くの者が代わる代わる入賞し、最初の“楽しみ”を感じる事が運良くできた。それから学校近くで地図を使って走ったり、教室で地図を読む練習をするなど、できることを少しずつやってきた。また技術指導はすべて岡野先生に伝授していただいた。それを上手く練習で展開できず、時に声を荒げることもしばしばだった……。

## 1999 愛知OLC合同合宿 145cm

岡野先生(愛知OLC所属)を通じ、愛知OLC主催の東日本大会バスツアーに参加させてもらった。また愛知県高校中学選手権(岡野先生が実行委員長を務め、多くの愛知OLCの皆さんが運営をしてくださって今夏17回を迎

える)が創設され、それらをきっかけに、生徒と地域クラブのつながりができ始めた。孫のように面倒を見てもらい、毎週の大会への参加が気楽にできる環境になった。

## 2000 中1から高2まで 150cm

中1最初から続け、中学3年間をやり終えた初の学年。試行錯誤を共にしてきた学年。現東工大OLTでも活躍する近藤友洋を中心に中途入部者ともよくまとまり、高校でも引き続き活動することとなった。「中1から高2まで」やり続けるスタイルを創りあげた。成長の差が心配されたが、逆にこれがうまく作用することにもなっていた。

## 2001 岡本・宮地の担任 155.9cm

中1を初めて担任することに。ちょうど2005年に愛知で世界選手権が開催されることも決まったばかり。それに関連して多くの大会・イベントが続くという。これまでの4年である程度の道ができ始めていた。そして、この中1達が高2の時に世界選手権。ひょっとしたら地元開催の大会に出られるかも…と淡い夢を抱いた。自分のクラスには岡本と宮地がいた。(彼らはその偶然を悔いているかもしれない)

## 2002 先輩主催大会開始 163.8cm

先に紹介した近藤たちが5年間の活動の締めくくりとして、後輩のためにと練習会を自主的に企画した。岡野先生にイチから教わり、定光寺で開催。無事成し遂げ、その勢いでIHに出場。IH参加4年目にして、東海として初めてMEに杉本知駿(現立命館大OLA)が出場し見事8位。MSでは近藤が優勝。OLに力を入れ始め、いつのころから関東の学校を意識しはじめていて、その結果が出た時、彼らが真に「もう少し頑張れば追いつける!」と思えるようになったのではないかと。

## 2003 関東に勝ち日本一! 172.9cm

そのような気持ちを受けたつもりで、年度当初に「関東に勝って、日本一になる!」と大きな目標を掲げ、計19大会(02年から運用している部内ランキング制度も適用)2練習会、2合宿に参加「させて」きた。特に後半は、大会や合宿を通じて近づけたエリートの方々には大会毎にアドバイスを頂いたり、初めて一般の参加を仰ぎ大会をなんとか運営しきったり、CC7で完走&48位、全日本リレーに選出されたり、トリムを作成したり……で多くの者に自

信がついたようだった。結果、山倉貴之が見事選手権制覇。そしてこの山倉優勝の陰には、当時の中3世代(宮地・岡本・戸田・前澤ら)の押し上げがあったことは印象的であり忘れられない。IH後のJWOC予選で宮地が中学生として日本代表に推薦されたことをここに記し明らかにしておく。(事情により辞退した)

## 2004 CC7で19位! 181.3cm

年間20回もの大会参加で量をこなしてきていたところに、前年の村越さんの講演に続き、松澤さんや元世界選手権者のトーマスピューラー氏の講演を企画し実現できた。また安斎さんには毎週お仕事後にコーチに来ていただいていた。質がグッと上がった一年であったと振り返る。そのおかげで、7名だけでなく、他全員の頑張りもあり、CC7で19位。中高生としてかなりアピールでき、自信もついた。

## 2005 WOC 愛知県開催 183.5cm

そして、8泊9日の世界選手権役員補助&大会参加。眼前で見た世界が、年度末のIHにつながり、見事高校団体初制覇。またトレイル役員を機に実力をつけた伴毅が全日本トレイル選手権で第2位の快挙。

## 2006 JWOC 代表輩出 185.7cm

そして、ついに“予定”より10年程早く世界選手権出場者(岡本・伴)が出た。前年出場の宇野夏樹君に刺激を受けたのは言うまでもないが、OBを含め学校もこの10年間の蓄積でバックアップ体制ができていた。

## 2007 地域クラブとして... 190cm?

今後はどうするか。今春、岡野先生の御退職、自身の中学校復帰(中1から高3の持ち上がりを終えた)、我が娘の小学校入学などを機に、OLC東海の地域クラブとしての活動強化と、個人的クラブ(名古屋市内でキッズOなどを展開していく)の設立を決めた。学校クラブは伝統的活動を重視維持していく。いままでの絢い交ぜ状態からの脱却を図りたいと考えた。どうなるかわからないが、次の10年も報告ができるように頑張っていきたい。

各見出し末の身長は、某クラブ員の成長過程です。出会った頃は私よりも小さく、森の中で3時間もさまよっていたのが懐かしいです。その彼も今春大学生となりました。高3時担任としても喜ばしい限りです。  
(大野聡生)

